

# 攻めの保存治療

## MTAとCRの活用

年間100本以上の抜髄を行っていたが数年の間に激減し、今では年間数本の抜髄を行うのみと変化した。これは覆髄材として用いるMTAの効果が大きいのはもともとだが、使いにくいMTAを簡便に使いこなせるように器具の選定を行ってきたこととスタッフの効率の良い連携のとれた作業を確立できたことが非常に大きい。今回、顕微鏡下直接覆髄/部分断髄を成功に導くための器具選定・材料選定のみならず、最終的な審美修復を行うためのコンポジットレジンの治療方法について、様々な臨床動画をもとに紹介しようと思う。



講師 **高田 光彦 先生** 神戸市開業

日本臨床歯周病学会会員 関西支部理事  
日本口腔インプラント学会会員 代議員  
日本顕微鏡歯科学会会員 認定医  
大阪口腔インプラント研究会会員講師  
日本顕微鏡歯科学会第11回学術大会大会長賞受賞

日時

2018年 10月 14日 (日) 10:00 - 16:30

場所

熊本県歯科医師会館 大ホール

住所：熊本市中央区坪井2丁目4-15 TEL:096-343-8020

定員

50名 (定員になり次第申込み締切り)

受講料

三水会会員 参加無料 / 非会員 9,000円 (昼食付・消費税込)

主催

主催：熊本歯科三水会

お申込み・お問い合わせ：川口歯科医院 TEL: 096-383-8118

お振込先：肥後銀行 上通支店 (普) 1087894 熊本歯科三水会 代表 堀川義治

協賛

(株)マイクロテック (株)YAMAKIN (株)白水貿易 (株)モモセ歯科商会



参加お申込書 日時：2018年10月14日

高田光彦先生 [攻めの保存治療]

貴医院名

ご氏名

ご住所 〒

TEL

FAX

e-mail

FAX送信先 096-383-8118